



2020年（令和2年）10月2日 // 金曜日 // 第5号

プレジール通信

“プレジールのいま”を（不）定期的にお伝えします。



「合切袋」は明治時代に大流行しました。



弊社の利休バッグの基本サイズは6種類。どれも細部のサイズ変更が可能で、可能性は無限大です。

オンラインで 楽しむ

ご依頼、お待ちしております

イベント等の開催が徐々に再開され始め、野球やサッカー、舞台、クラシックコンサート、映画などを大人数で「生」を楽しめる機会が増えて来ましたが、大規模なコンサートの開催はまだまだ先となりそうです。

私がファンであるバンド「T」のスタジアムライブは毎夏の恒例イベント。別のバンド「I」や「O」も今年、ホールやアリーナでの全国ツアーを予定していましたが、これらのライブは、コロナウィルスの流行拡大に伴い、中止もしくは延期となりました。代わりに、それぞれのバンドのオンラインライブが9月に立て続けに開催されました。

果たしてオンラインライブは楽しめるものなのか…抱いていたそんな不安は杞憂で、どのライブも素晴らしく楽しく、特に、これまでずっとチケットを入手出来ずにいた人気バンド「O」のライブには、今回、初参加が叶って大満足。どのライブも期間内であれば、何度でも視聴可能で、何度も楽しみました。

「生」で観たい！と言う思いがより募ってしまったのも事実です。「生」で味わえる臨場感や一体感は、やはりオンラインでは得難いものですが、視聴者に心から楽しんで貰いたいと言う一心で作られられたそれぞれのオンラインライブは、オンラインならではの演出もあり、何より、自宅で、「最前席」で、臨場感たっぷりのライブを堪能できたのです。「今の時代」だからこそ新たな形のライブを存分に楽しませて貰えたように感じています。

「オンラインライブ」もそうですが、パソコンや携帯電話のシステムや周辺環境が近年急速に進化し、コロナ禍をきっかけに弊社でもオンライン会議システムを準備しました。個人的には、実際にオンライン会議システムを使っていますが、実際に会って集まっているような印象を受けます。しかし、弊社では、このオンライン会議システムを利用した打合せの実施が実現しておらず、これまで通り、取引先に直接お邪魔させて頂いたり、お客様に弊社まで来て頂いたりして、打合せを行っています。それは何故か？

弊社でハンドバッグを制作させて頂く多くの場合、使用する素材の柄取りや柄位置の細かい指定があります。打合せを重ね、素材や柄に合わせてサイズや持ち手の付け位置等を変更し、何度も修正します。

表地や裏地に合うチャックの素材や色は？
裏地はどんな素材を使用する？

等々

細部に至るまで打合せをさせて頂くケースがほとんどで、実際にお目に掛かり、素材を手にとって話を進めて行く方がスムーズなのです。このため、緊急事態宣言が発令されていた際も、細心の注意を払った上で、実際に打合せ先に呼ばれ、打合せを重ねていました。

政府主導による様々なキャンペーンも実施され、実際に遠方に出掛けられる雰囲気

なりつつあります。

しかし、弊社所在地は東京。

コロナ患者数は減少傾向にあると言いますが、実際には高止まり傾向にあるように思え、弊社周辺からは罹患者が全く出ていないものの、罹患者数が国内で最も多い東京から本当に出掛けて行って良いものだろうか…と考えてしまいます。

ではオンラインで打合せを、となるのが一般的な流れかも知れませんが、昨今の小売店等の動向を見ていると、「新しいバッグを作らしましょう！」とこちらから積極的にお声掛けし辛い状況にあるとも感じています。

正直申し上げて、2020年の弊社のバッグ制作本数はこれまでの半数以下に減少しています。お声掛け頂けましたら、都内近県のみならず、どこへでも万全の体制を整えた上でお邪魔させて頂きます。

幸いにも、こんな時代だからこそ！と、新たな商品作りのお手伝いをさせて頂く機会が徐々に生まれています。弊社の場合、特に「利休バッグ」や「合切袋」に関する制作のご相談をお受けする事が増えています。バッグのダウンサイジング化が急速に進み、これまでにない小さな利休バッグや巾着タイプの合切袋も改めて注目されているようです。

御社でも如何でしょうか？

弊社への制作のご依頼、ご相談はどうぞお気軽に。お待ちしております。